

令和3年12月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

新型コロナウイルス感染症が沈静化し、県市町等の需要喚起策もあって、商店街や飲食業・旅館業を中心としたサービス業において景況感の改善が続き、全体として12月期の景況DI値は、4か月連続して上昇している。

一方、製造業、建設業及び運輸業においては、部品不足や原材料・原油高騰が収益を圧迫するとともに、外国人の入国制限が続くことによる人手不足が深刻な問題となっており、先行きへの不透明感が増している。

世界的にはオミクロン株による感染拡大が続く中、国内における再度の感染拡大を懸念し、回復の兆しが見られる経済活動が再び停滞することを不安視する声が多く寄せられている。

山口県の主要指標 DI 値（令和3年12月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：36.3% DI値：▲30.0% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加：25.0% 減少：30.0% DI値：▲5.0% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：10.0% 悪化：37.5% DI値：▲27.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和3年12月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲50.0	▲50.0	0.0	▲50.0	▲33.3	▲33.3	0.0	▲34.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
20.0	▲50.0	▲40.0	0.0	▲36.4	▲42.9	▲100.0	▲27.0	▲30.0
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	未だに新型コロナウイルスの影響で製品の動きが悪く、原材料の動きも悪い。	調味料製造業
	市場の水揚げ減少により仕事が極端に減少している組合員がある。漁業者の数が近年急激に減っており、後継者の不足が心配。	水産食料品製造業 長門市
	コロナの影響での業況だが、当組合員の業種によって変わらない組合員、季節的に厳しい組合員と分かれている。数値的な部分はわからないが、この冬の業況はコロナの状態とワクチンの普及率で変わってくると思われる。現在、組合員のほとんどが忙しい状況だが、新しいコロナ株が広がっていて、更に入国が厳しくなるのではと思われる。入国は出来ないのに帰国は出来る模様で、実習期間が終わった実習生が帰国し、企業は大変なことになっている。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルス感染が落ち着きを見せており、12月度の売上げは昨年同月より増加したが、業界の状況は、現在も、原料不足・原料高騰が止まらない上、品薄が続いている。また、オミクロン株の情報もあり先行きは不透明極まりない。感染が再拡大したなら、消費マインドが冷え込み、観光客のお土産は見込めず、販促のイベントも期待できず、売上が見込めなくなる。これから先、With コロナのうに業界は、HACCP等をはじめ衛生管理が厳しくなる中、対応できるところと対応できないところがあり、売上の良いところと、悪いところとの2極化が増々進むと思われる。(1/9から、山口県の一部でまん延防止措置がなされているが、山口県で一括りと見られる可能性が高く、消費が冷え、売上も減少すると思われる。)	
	2021年12月についても、自粛活動の長期化に伴う全国的な米あまり現象による米等の農産物価格の下落により、売上高も10%程度の下落となり大きな影響を受けている。また、新型コロナウイルスの蔓延に伴う自粛活動も撤廃されているが、新たな変異種、オミクロン株の登場により、コロナ蔓延第6波が懸念される。	精穀・製粉業
繊維工業	現在、外国人技能実習生は、中国人11名、ベトナム人25名の合計36名。コロナウイルスの規制強化を受け入国禁止が続き、ベトナム人も帰国可能となり、人員が減少するばかりとなっている。	下着類製造業
	新型コロナウイルス変異株の感染拡大が心配。	外衣・シャツ製造業

木材・木製品	木材業界全体に低迷感あり。ハウスメーカーはそうでもないかもしれないが、地域の工務店は四苦八苦している。	製材業・木製品製造業 岩国市
	前年と変わらない状況。	製材業・木製品製造業 山口市
	組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年12月に比べ10%の減少、コロナ禍の令和2年12月と比べ20%の増加だが、増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在している状況。国産材スギ・ヒノキ材の価格は高値を維持しているがヒノキに関してはそろそろ天井に思える。柱材は不足しており、調達難が続いているが、国産材需要も少し落ち着いてきた感がある。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	感染力のより強い新型コロナウイルス、オミクロン株の感染が世界的に拡大しつつあり、ようやくコロナ渦を抜け出したと思えた経済活動再開に水を差すことになるのではないかと懸念される。昨年は中止が相次いだ各種イベント等が、今年は規制を設けながらも再開されたことにより徐々に印刷等受注が増加している。デジタル庁の新設により、更にペーパーレス化が加速していくと思われるが、Webやデジタル技術の進歩は日進月歩であり、業態の変化、多様化に対応していくことが今後、更に求められることとなる。	印刷 下関市
	底冷えのする年末であった。	印刷 山口市
窯業・土石製品	建設業では、原材料等（鉄筋・木材・原油高・運賃等）の高騰があり、販売価格に転嫁できていない状況が続いており苦慮している。県市町村が発注する公共工事は、地産地消の推進が見受けられるが、国土交通省が発注する公共工事においては、ほぼない状況で苦慮している。	コンクリート 製品製造業
	出荷量は、前月比97%、前年同月比97%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	令和3年も、コロナの影響を受ける事も無く、安定した業務内容だった。裏を返せば、コロナが終息しても飛躍的に売上が伸びるといってもいいということだが、この時期を乗り越えられているだけでも、充実した年と言えるのではないだろうか。	石工品製造業

	<p>前年同月比の小売り売上は10%~20%増加。百貨店やギフトなど卸売上は20%~30%の増加。コロナ感染も落ちついていることもあって、萩市内は、多くの観光客で賑わった。11月26日~12月2日まで名古屋で開催された「やきものワールド」、12月9日~12月13日まで岡山で開催された「暮らしを彩る器フェア」の来場者もまずまずで、例年以上の売上があった。組合員商品提供の共同販売ショップ、明倫学舎ショップやKANMON.U.W(下関大丸)での販売は予想を下回り、商品構成やショップ内でイベントを開催するなど、売上アップを目指していきたい。萩焼協同組合ECサイトでは売上がほとんど出しておらず、今後は有料ネット広告やSNSなどを利用し宣伝に力を入れていきたい。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
<p>一般機器</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で引き続きリモート面接を実施しているが、ベトナムも感染拡大でロックダウンが発生し、募集も困難、面接も延期になっている。外国人技能実習生も入国がいつになるかわからないためキャンセルが発生してきた。特定活動中の実習生がワクチン接種を2回終了したので帰国し始めた。外国人技能実習生の入国が無く帰国ばかりで縫製業は困っている。</p>	<p>一般機械器具製造業 岩国市</p>
	<p>年末が近づくとつれ客の動きも落ち着いてきて、組合員全体的に、売上は下がっている模様だが、この動きは、例年通りなので、それなりに皆さん覚悟はされていた模様である。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>令和3年1月と比較して収益状況の悪化、業界の景況悪化と回答した会員が増えている。人手不足は全く解消されず、働き方改革もあり仕事をこなすことに苦勞しており、外国人労働者の受け入れ期間の見直しが必要。不足している人材は、思考し創造することのできる装置設計技術者、職人技と言われた手仕上げ作業の後継者、客先へ提案営業のできる技術営業者があげられる。電子部品などの入手困難な品が増え納期を守ることが難しくなっており、受注に悪影響が出ている。使用材料が10月、12月に値上がり、1月にも再値上りする。その他の材料も値上がり(便乗?)しており、納期も決まらない。既に見積案件や受注済み案件は、度重なる値上げで採算が合わなくなっている。取引先でも導入する機械自体の納期が未定なため工期が延長となった。厳しい環境を逆手に取りコンパクト化・スリム化が達成できた1年であった。自動車業界の更なる減産、材料部品・物流費の値上げは続くと考えており、対策を考えなければならない。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>

	<p>新型コロナウイルスの蔓延による企業業績への直接的な影響はないが、大半の企業では、外国人の入国が来ず、人手不足から残業が増加するとともに、事業の縮小を余儀なくされ、事業に支障が出てきている。水際対策の緩和の再度の延長により、外国人の入国が不透明になり、組合、企業とも困惑している。企業からは特定技能、特定活動の労働者の紹介を依頼されることが増えてきたにも関わらず、逆に高賃金の都市部の企業への転籍が増えてくるとともに、帰国するケースが増えてきている。そのため、各企業とも人員の確保に苦慮している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>収益面でも依然として厳しい状況が続いているが、年始以降も原材料の上昇が予想されている。</p>	
輸送機器	<p>鉄道車両関係は、現状は順調に推移。ただし、鉄道車両生産は国内業者の来年度以降の新車両計画は減少の見通しで、それに伴い受注高も減少が見込まれる。海外受注は世界的なコロナ禍の状況で確かな見通しが立たない状況。英国での大口受注があるが、現地生産の予定で、日本国内企業へは寄与しない。</p> <p>半導体は、例年の2～3倍の受注量で好調。2～3年後も順調に推移の見通し。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>海苔の入庫が遅れていることや、カキ・肉類の入庫が、出庫に対し大きく下回っていることから、倉庫売上が昨年と比べ減少。海苔については色付きがやや不良であること、カキ・肉類についてはコロナの影響がでているものと思料している。</p>	乾物卸売業
	<p>「ふく」は、天然・養殖ともに高値が続いている。市場への客足は昨年末と比べたら、かなり多い。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>コロナ感染者が減少する中、多少、売上高が増加に転じ、徐々に増加傾向。</p>	各種商品卸売業 山口市
小売業	<p>コロナ感染の規制緩和から次第にお客が増えてきたようだが、まだまだ以前の売上には戻っていない模様。インショップではポイント還元やガラポンなどで集客をあげて、売上が伸びている模様。最近ではポイント還元や10%還元など景品をあげるより集客力は高い様子。緩和に伴ってだんだんと肌タッチやメイクアップをし始めたお店も増え、ドラッグストアなどで出来ない専門店の特権がもっと出来るようになれば、更なる収穫になる。</p>	化粧品小売業
	<p>新型コロナの影響で東南アジア各地の工場の閉鎖に伴う部品類の不足で、製品の在庫切れや、原油価格の高騰に伴うオイルをはじめとする石油製品の不足等が影響し、注文を受けても商品が不足している状況にあるため、月次売上が減少。更には、農業者への「経営継</p>	農業用機械器具小売業

	<p>続補助金」の恩恵もなくなり、昨年と比較すると業界の景況は悪化したとみられる。</p>	
	<p>売上は、前年同月比で95%程度。半導体他部品の不足等が影響し、商品の入荷が依然として遅れている。</p>	<p>機械器具小売業</p>
	<p>前年同月比では約104.3%の売上。前々年比約51.3%の売上。12月に入って土・日の夜間駐車の数が増え、昨年より売上微増となった。歳末大感謝祭・ガラポン抽選会およびプレミアム商品券販売等イベントを開催したが、なかなか駐車台数増加につながらない。貸しホールについては、大きなホールの申込みがなく売上減少が続いている。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>
	<p>11月売上は対前年同月比マイナス15.1%と厳しい結果であった。昨年11月は、GoTo トラベル効果で前年20%アップであった。12月は12/26時点、前年比イーブンで推移している。シケ模様の日が多く、萩漁港の水揚げが少なく商材確保に多少困難があった。年末年始もシケが予想され入荷が厳しい状況となりそう。</p>	<p>各種商品小売業 萩市</p>
	<p>12月の前年比供給高103.2% 来店者数99.0%。累計は、供給高97.7% 来店者数95.0%。供給高は微増を続けている。ウィズコロナの影響で自宅で過ごす方が多いようで、来店者数は伸びていない。年越しそばの予約が増えていることから、年末、年始は里帰りを計画されている方が多いと思う。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
<p>商店街</p>	<p>飲食業界を中心に景気回復基調もみられるが、年平均を比較すると半分程度。決して元に戻ったわけではない。ファッション衣料に関しては、やはり旅行や出張、会議など消費者の目的が無いだけに需要が喚起されず、依然として苦戦が続いている。理美容などサービス業は横這い。しかし徐々にオミクロン株も増えており、1月は爆発的感染拡大によって市場は震撼すると思われる。</p>	<p>岩国市</p>
	<p>新型コロナウイルスの新しい株への警戒心と寒さの影響で人出が無く、客足は鈍い。年末の景気の浮揚感あまり無い。</p>	<p>宇部市</p>
	<p>12月に30%のプレミアム分が付いた田町商品券を販売し、多少、売上も伸びている模様。年末までの売上増を期待しているが、中でも食料品店は10%程度の売上増加と商品券が役立っている。コロナの影響も多少薄れているようで、年末年始の人出を願っている。</p>	<p>萩市</p>
	<p>11月1日に販売した長府商店街プレミアム商品券の好影響で、商店街でのお買い物客が増加している。12月15日からのポイント祭りでも2倍の商品券販売、12月20日からは乃木さん通り商店街でもお買い物客にス</p>	<p>下関市</p>

	クラッチを配るイベントが実施されるので、相乗効果で、益々売上増加に繋がると大いに期待している。	
サービス業	全体的にコロナも収まっており例年通りと言いたところだが、若い客層は例年の12月通りであるが、中高年は1,000カット他に流れているようで、10ポイント程度売上が落ちている。	美容業
	コロナウイルス感染者も減少傾向にあるが、依然として自粛ムードで来店サイクルが伸び、先行きが不安である。	理容業
	複雑な自動車整備士の制度について検討を進めてきた「自動車整備士資格制度等の見直しWG」が、国土交通省の「自動車整備技術の高度化検討会」に検討結果を報告し、令和9年に法が施行される道筋がついた。しかし、示された内容を見るとかなり一元化されスリムになった反面、制度改正によるデメリットの部分が見えてきたことから、将来の自動車整備士がうまく機能するのかが心配されるようになっており、今後、国に対して要望等を上げより良きものにしないと、整備業界が大きな問題を抱えることになると思われる。	自動車整備業
	12月売上も前年を上回ることが出来た。一年を通してコロナ禍から大きく回復した組合員もあるが、一方で昨年よりも伸び悩み廃業していく他の同業者も多い。この一年で業界の二極化がさらに進んだことを実感する。今年良かったとしても来年も良いとは限らないので気を抜かず、常に新しい挑戦が必要であると思う。地域の飲食店は徐々に活気が戻りつつあるように思う。	普通洗濯業
	12月は団体の予約もあり2020年度の年末よりは、飲みに出られた客も多いと感じているが、現在(2022年1月時点)またコロナの影響が出ており、「またか。」という気持ちである。早く終息して欲しいおのである。	飲食業
	人の動きが、前年同月より活発化している模様。JR券の売上も、前年同月比で120%となっている。	旅行業
	プレミアム宿泊券及び県民割の効果で、売上額105.9%、宿泊人員118.3%と昨年同月を上回ることができた。コロナウイルス感染の影響のなかった一昨年と比べると、売上額99.5%、宿泊人員109.4%となった。新型コロナウイルスのオミクロン変異株が感染拡大傾向にあるが、今後、感染拡大となった場合は、大変なダメージとなるので、収束を願うばかりである。	旅館業 山口市
	コロナ感染者も落ち着いてきて、県民割やプレミアム宿泊券の支援もあり、宿泊者数は伸びている。令和2年は、12/28までGoToトラベルが利用できていたので広域からのお客あったが、それと比べると少なく、	旅館業 下関市

	コロナ前には程遠い。	
	入浴者数は前年同月と同数に留まり、売上高も前年並み。管理費等の経費は燃料費等の上昇により増額となっている。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請 121 件(当支部 104 件)、前年同月 116 件(同 98 件)。太陽光発電への申請 19 件(前年 11 件)、オール電化申請 72 件 (前年 57 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 12 件(前年 31 件)であった。	電気工事業
	来年夏より工事量の回復が見込まれる。建材フォーラム 10 月号の建設業専門工事業の職種別労務需給状況によると左官工事業は一番逼迫しているとされているが、ゼネコン・総合工事業者との契約交渉の中で活かされておらず、戦力の維持・強化の努力を怠っている事業所が多い。	左官業
	組合員は、交通規制の始まる前の 12/17 まで、年度初めに受注した官公需の仕事で忙しかった様子。年末の寒波到来の予報で、組合員には念のため凍結等に備えて待機してもらったが、心配された程ではなかった。県内の新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、今のところ組合内で感染者は出ていないが、人手不足でもあり、先行きには不安を持っている。業界の従業員の高齢化と人材不足は相変わらず解消できていない。	管工事業
	昨年 11 月、上関大橋の橋梁事故の本格復旧工事が、現在夜間に実施されている。予め工事日程が示されており、通行止めも、大きな支障は無く順調に工事は進捗している。上関庁舎新築工事も橋梁事故の影響で工期は延長されたが、今年度末には完了の予定である。管内の土木建築の発注は、順調に進んでいる模様。柳井市内では、大東建託のアパート建築が数ヶ所続いている。また、民間の個別住宅も、建築ラッシュのように見受けられるが、木材の高騰と設備の調達が不調のため、工期の延長も多い。	土木工事業 柳井市
	1 2 月の受注高は、対前年同月比 2575.8%。令和 3 年度の累計では、対前年比 94.6%。令和 2 年 1 2 月は少額工事 3 件であったが、本年は夏の豪雨災害関連及び国土強靱化対策関係で大型工事が多数あったのでこのような結果になった。	土木工事業 萩市
	新築の物件で、板金屋根の採用が増えており、各社受注減になっている。リホーム工事の開拓・受注に力を入れている。	屋根工事業
	小規模物件や改修工事等でなんとか仕事を確保している状況。見積物件は少なくなっている。鋼材・ボルト・消耗品の値上がりが収益を圧迫している。	鉄骨・鉄筋工事業

運輸業	<p>新型コロナウイルスがやや収束したかと思いきや、オミクロン株の感染拡大の傾向により輸送量が激減。輸出・国内向けともに約48%弱のマイナス。中小運送業者には特に苦しい年末である。燃料費は4.2円の値下げとなったが、この値下げ位では、どうにもならない現状にある。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>組合の輸送取扱高は、前年と同程度である。再び部品調達に翳りが出て来ているようで、今後の明るい見通しは立たない。燃料費は下落傾向にあるが、相変わらず流動的。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>運送に関しては、軽油値上がりの影響で運賃の値上げ交渉を引き続きお願いせざるを得ない状況が続いている。全体の輸送量に関しては、小物雑貨・季節商品を中心に増加している。繁忙期の時期的なものでもあり、雇用人員確保に苦慮している。倉庫作業に関しては外国人技能実習生も雇用しているが、予定人員の入国がままならない状況が続いており、人員不足に輪をかけている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+22.8%（令和3年11月1日～令和3年12月20日分）。11月1日～30日分は+10.0%、12月1日～20日分は+44.4%。前年度はコロナで大幅に落ち込んでいたので（前年11月分は▲45.9%）、前々年度比では、それぞれ▲41.1%、▲40.5%、▲41.8%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。11月分については、周南+5.2%、下松+23.2%、光+14.5%、防府市地区は▲4.9%で、組合員の全域では+13.1%、地区外（員外）+13.1%、合計+10.0%（+1,254千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動します。CPが下降し（前月812.5\$/トンが今月790.0\$/トン、前年450.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下降（前月705.0\$/トンが今月604.0\$/トン、前年371.0\$/トン）。為替は円安（前月114.11円/\$が115.14円/\$）です。燃料単価は▲1.1%下がりましたが、前年12月比+39.4%であり、たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足している。10月から、コロナ発生の減少と連動して、前年比では需要が回復しているが、前々年比ではまだ▲40%（12月分：前年▲60%で、今年その44%が回復）。朝の、出勤や通院時間帯など、配車が遅れる時もあるようすが、乗務員不足で稼働できずにいる模様である。繁忙期のこの時期での需要回復はたいへんありがたいのですが、新たなオミクロン株の感染拡</p>	一般乗用旅客 自動車運送業

	大が危惧される。	
	1 2月の取扱高は、対前年比で若干の増加となった。コロナ禍の影響は特にはない。	港湾運送業 山陽小野田市
	取扱貨物量は、徐々にではあるが、先月から一昨年並みの水準まで増加しつつある。今後もしばらくはこの傾向を注視していく必要がある。	港湾運送業 下関市
その他	オミクロン株対応の水際対策の強化により、直近での外国人技能実習生入国の期待も絶たれ、受入待ちである。まったく先行きが見通せない。受入待ちの事業所も入国の期待と再度の待ち状態との繰り返しに慣れてきた感もあるが、不満は大きくなるばかりで、実習生を受け入れること自体に疑問を持っていることも何え、本国で待機中の外国人技能実習生も入国を諦めるとの話も聞かれる。ただ、組合と事業所の担当者の関係は良好で、また、現在の実習生に対する信頼は損なわれていない。	介護事業